

第2回令和3年8月9日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議 議事録

日時：令和3年8月11日（水）16：30～16：50

場所：第三応接室

○坂本危機管理局次長

ただいまから第2回令和3年8月9日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議を開催いたします。本日の手話通訳者は、古田美絵さんと障害福祉課 山上美紀さんです。

はじめに本日14時現在における災害対策本部の対応状況等につきまして、統括調整部長より説明いたします。

○橋本統括調整部長

それでは被害等の状況第5報、8月11日14時時点という資料を使って説明させていただきますが、はじめに、今日の午後、「しらかみ」が撮影した現場の状況の映像がございますので、この映像を先に流したいと思います。

この映像は、易国間地区方向から桑畑地区方向に向けてヘリコプターが空中から撮影を行っています。現場における作業の状況が映っております。

各所見ていただくと分かるのですが、山腹の方から流れた跡が映っている状況が分かると思います。こういったものが道路の方に流出して、道路を啓開する作業等を進めたところが、現在映っているという状況になります。

このように、いくつかの箇所を見ていただければ分かるのですが、上の方から流れ出ているということが分かるかと思えます。この部分は、こういった形で車も走行できるような幅が確保されています。

ここから桑畑方向が今映っております。この先は天候の状況が悪化したために、下風呂方向については撮影ができませんでしたが、その手前のところまで今映っております。今ちょうど地図で、今のところが桑畑地区に差し掛かっているというのを指で示しており、ここまでは開通しているということになります。

今集落が映っていますが、その先の部分の方がまだ開通していない状況になってしまっていて、上から落ちた土砂がまだ完全に道路を埋め尽くしている状況が映っているかと思えます。これらを撤去して啓開するというところで、ちょうど今作業している状況が映っています。かなり上の方から落ちているということが分かると思います。

ところどころ、土砂が落ちているということになります。道路の方とか海岸の方とかも、流木とかも映っているかと思えますので、道路が残っているところと、埋まってしまっているところが出ています。それで、上の方から落ちているということになります。

このあたりで大分視界が曇ってきておりますので、撮影した終点部分になるかと思えます。

複数箇所では被害が起きていて、この先に下風呂地区があるのですが、そちらまでは撮影できない状況となったので、引き返したということになります。今日の現場の状況について映像で共有させていただきました。

それで先ほどの資料に戻りますが、14時時点、現在も人的被害の情報はなしということで、引き続き確認を行っております。建物被害については、現在も調査中で七戸町のところが6戸という形で数字が変わっていきそうですが、今後も調査を継続することになります。

それから孤立集落の状況ですが、14時時点ではむつ市赤川地区が60名、風間浦村桑畑地区が100名、それから同下風呂地区が621名と、下風呂地区が一番多い状況となっております。

それからライフラインの状況、道路の状況等については記載しているとおりでございます。

次のページ、道路のところ、天間館・附田線ほか8路線で冠水1箇所ということで、そこ

が変わっております。

交通の状況については、大湊線が倒木で運転の見合わせを行っているなどがあります。

航路、空路については平常運転に戻っているという状況でございます。

それから農林水産部関係で被害額調査中ですが、夏秋いちごの冠水ですとか、七戸町、東北町については詳細を調査中ということでございます。

それから、県の行った措置のうち、8月11日の部分についてですが、午前5時30分に風間浦村に対する物資支援としてスタートしております。先ほどの易国間方向からではなく、小赤川橋の崩落した側からアプローチをして、災害に対応する物資の支援を開始したということです。

それから映像でありましたように、国道279号の道路啓開作業を再開しているということです。これは後ほど県土整備部の方から説明があると思います。

それから孤立地域にいた透析患者3名をむつ総合病院に搬送し、完了しております。

また、健康調査支援のための保健師の派遣や災害福祉支援チームの派遣についての調整などを進めているところです。

ここに記載されておりませんが、七戸町に対して給水についての支援を行うということで、自衛隊の派遣要請を行ったところでございます。

次のページには、避難所の状況を時点修正したものが記載されております。

その次のページには、先ほど申し上げた物資支援について、どのようなものが行われたかということ添付しておりますので、御参照いただければと思います。

それから气象台の天気の見通しについても参考までに付けております。引き続き、曇り、雨といったような状況が見込まれているということでございます。私からは以上です。

○三村本部長

風間浦村は（避難者数が）96名に減って自宅に結構帰っているけど大丈夫ですか。

○坂本危機管理局次長

その時点の数字ですので、一旦戻ってまた夜帰ってくる場合などがありますので、そういうことだと思います。

○三村本部長

わかりました。

○坂本危機管理局次長

引き続き、災害復旧の状況につきまして、県土整備部長からお願いいたします。

○岡前県土整備部長

それでは県土整備部から御報告いたします。まず先ほど映像にもございました国道279号の道路の啓開状況でございます。映像でも御確認いただいたとおり、まだかなり大量の土砂が残っておりまして、ちょっと写真で恐縮ですが、このような、かなり人の背丈ほどもあるような土砂の箇所もあって、それをいわゆる片押しで大間側から順にやっていくしかないということで、地元の建設会社等の御協力も頂いて、易国間から下風呂に向かって約4キロ、先ほど映像で映っていたあたりまで、区間は縮小されてきました。

今日この後も引き続き作業を続けるということで、鋭意努力しているところでございます。

あと小赤川橋ですが、本日、県及び国土交通省の職員と現地の方も確認に行きました。それでちょっと写真が小さいのですけれども、桁が折れて落ちており、上流側の方で人道橋がまだ残っております。

○三村本部長

人道橋はまだ使えるんですか。

○岡前県土整備部長

はい。これを使って自衛隊が物資を運んでおりますが、この人道橋の上に相当な流木がたまっており、更にその上に水もたまっていて、天然ダムのような形になっているという報告がありました。

まずこれについて作業を進めるにも安全を確保しながらということになりますので、国総研の方にも御協力いただいて現場を確認しながら、あと今日現地で調査したデータ等も引き続き国土交通省と協議しながら、仮橋の方向性では今進めておりますけれども、準備等を更に検討しながら進めていきたいということです。

水のポンプ等についてはこれから調整しますけれども、地元の建設会社等も協力できると思います。必要であれば国土交通省にもお願いすることも検討していきたいと思っております。まずは、この道路啓開と橋について今重点的に対策させていただく予定です。以上です。

○坂本危機管理局次長

続いて、避難所の被災者支援等に関しまして、あるいは防疫に関しまして健康福祉部長から状況をお願いいたします。

○奈須下健康福祉部長

先ほど統括調整部長からも話がありました保健師の派遣、避難所における健康調査支援のために、むつ保健所の保健師2名及び事務職員1名を風間浦村役場に派遣しまして、現在情報収集をしております。

併せて災害福祉支援チーム、DCATの派遣について、現在、県社会福祉協議会との間で調整をしております。8月12日、明日以降、風間浦村内の避難所において保健師等による健康及び福祉への支援を実施することを予定しております。以上です。

○坂本危機管理局次長

その他各部において、報告すべき事項がございますれば挙手をお願いいたします。各機関で報告事項がございますれば、よろしいでしょうか。

それではないようでございますので、本部長から指示事項をお願いいたします。

○三村本部長

一昨日からの大雨に伴う被害は徐々にその概況が明らかとなっているところでありますが、現在も国道279号の数箇所が通行止めとなっており、一部の地域においては、依然として孤立状態が解消されていないことから、一刻も早い道路啓開が望まれるところであります。県土整備部そして地元業者の皆さん、あと4キロということですので、よろしく願いします。

また、県内では大雨警報がまだ発表されている状況ではありますが、住民の命を守るため関係部局にあっては、関係機関等との連携により、引き続き被害状況の全容の早期把握に全力を挙げますとともに、孤立地域の一刻も早い解消に向け、道路の早期啓開に向けた作業を迅速に実施してください。

また、各部においては被災自治体のニーズを積極的に把握の上、必要な支援を行うとともに、電気や水道などのインフラ復旧や被災者の生活支援、さらには災害廃棄物の処理に向けた検討、災害救助法の適用に基づく各種支援につきましても万全の対応と準備を進めてください。

引き続き、国、市町村及び関係機関とも連携しながら、全庁一丸となって孤立地域の解消

や避難している方々に向けた取組を進めるよう指示をいたします。よろしく申し上げます。

そして、被災地域にお住まいの皆様方、孤立地域や避難所等で避難を余儀なくされている皆様方におかれましては、不安な一夜を過ごしたことと思います。避難所生活は2日目に入り、お疲れのことと存じますが、現在一刻も早い復旧に向けまして県及び関係機関が全力を挙げて対応に取り組んでおりますので、避難されている皆様方におかれましては、お互いに何とぞ励まし合いながら、今しばらく御辛抱をお願いいたします。保健師等による健康相談を含め、様々な対応をしておりました。

そして、何よりも陸上自衛隊第9師団をはじめとして、今回の災害により日夜問わず対応に取り組んでおります各関係機関及び各市町村職員の皆様方に対しましては、心より感謝を申し上げたいと思います。

この難局を乗り越えるため、それぞれの力、そしてこれまで培った様々な経験を結集しながら、引き続き対応に当たられるよう切にお願いいたします。

共に頑張ってまいりましょう。

○坂本危機管理局次長

以上をもちまして、本日の災害対策本部会議を終了いたします。ありがとうございました。